

# 台風に伴う大雨による災害発生箇所の現地調査 (大分県由布市湯布院町川西)

台風14号に伴う大雨により被災した大分県由布市湯布院町川西において、民地斜面の土砂崩れが発生し国道210号の被害が発生。

現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

出席者:大分工業高等専門学校 工藤准教授、大分河川国道事務所

## ● TEC-Doctorによる現地調査(令和4年9月19日)



### 【今回の災害について】

○災害発生の原因は表層崩壊によるものであり、今後、大規模な深層崩壊となることは考えにくい。

### 【対策方法について】

○応急復旧として、

- ・民地の被災箇所については、今後の降雨によるさらなる崩壊を防止するために、ブルーシートによる養生が必要。
- ・土砂撤去後の国道沿い斜面はブルーシートで覆い、国道への影響を防止するため、大型土嚢でポケットを築造することで問題ない。
- ・応急復旧については、国の案である土砂撤去並びにブルーシート養生を行い、土砂ポケットをもうけた大型土嚢を設置する対策が良い。
- ・降雨が収まった後、被災法面上部にある九州電力の水路状況を確認すると良い。